

## 旅をする漆の器

人の集まりに、漆の器を貸し出します。様々なシーンでご利用ください。  
根曲り竹の容器も器として利用できます。笹を敷くなどアレンジもお楽しみください。  
アンケートへのご協力とともに、写真のご提出もお願いいたします。

器が食で飾られる。  
長く使われることで、  
器が新しい美しさを獲得する。



### 「旅をする漆の器」一式

大皿の行李：ヤナギの耳杯、キハダの片耳杯、クリの片耳杯  
鉢の行李：キハダの挽目盛器（二枚）、センの挽目盛器（炭粉に拭き漆と錫粉仕上げ）、  
ヒバの浮造皿、クリの屈輪文皿  
小皿の行李：タケの皿（五十枚）  
箸の巾着：ヒバの箸  
食具の巾着（三袋）：タケの籠、匙、櫛など  
食具の帯：タケの櫛、箸など

容器：雄国竹根曲り竹細工保存会  
竹のカトラリー：平出竹店（スプーン、フォーク、トングを除く）  
風呂敷・巾着：宮原裕子

### 漆器の取り扱いについて

ほとんどの器が拭き漆※による仕上げです。熱い料理もそのまま盛りつけて構いません。  
電子レンジは使用しないで下さい。ご使用後は、中性洗剤で洗い水を拭き取って下さい。  
※拭き漆：木地に生漆を塗り、余分な漆を拭き取ります。

生漆：採取された漆で精製前の素の漆

筑波大学宮原克人研究室  
茨城県つくば市天王台 1-1-1  
tel.fax 029-853-2843



<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~miyaharalab/>